



2023年4月28日

各位

上場会社名 株式会社エクセディ  
代表者 代表取締役社長 吉永 徹也  
コード番号 7278 東証プライム市場  
問合わせ先 代表取締役専務執行役員  
管理本部長 豊原 浩  
TEL (072) 822-1152

## 減損損失の計上及び連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期決算において減損損失を計上しました。また、2022年10月31日に公表いたしました、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 減損損失の計上

当社の米国子会社であるダイナックスアメリカにおいて、AT（自動変速装置関連事業）の事業環境の変化を背景とした収益性の低下が見込まれることから、減損の兆候を識別し、対象会社の有形固定資産について減損テストを行いました。その結果、対象資産の帳簿価額を回収可能額まで切り下げ、約30億円の減損損失を「その他費用」として計上いたしました。

当減損処理を行うことによって将来の費用負担を軽減するとともに、今後の収益回復に向けた基盤づくりに努めてまいります。

#### 2. 連結業績予想との差異

##### (1) 2023年3月期 連結業績の連結業績予想との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 300,000	百万円 9,000	百万円 11,000	百万円 7,500	円 銭 159.74
実績値(B)	285,639	8,760	9,916	4,591	97.78
増減額(B)-(A)	△14,361	△240	△1,084	△2,909	
増減率(%)	△4.79%	△2.67%	△9.86%	△38.79%	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	261,095	18,328	19,467	12,477	265.92

##### (2) 差異の理由

親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、今後の業績動向等を勘案して繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、いくつかの子会社において主要な一時差異や税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の計上を見送ったため、連結業績予想との間に乖離が生じました。

以上